

掲載している「年齢」は、令和6年度(令和6年4月1日～令和7年3月31日)に迎える「誕生日での年齢」です。がん検診受診券に記載の(年齢)です。

検診名	胃がんリスク検診	ピロリ菌検査	肝炎ウイルス検診
対象年齢	40・45・50・55・60・65・70・75歳 (過去に受診券を使用し、 検査を受けたことのない人)	20歳	40歳以上 (過去に同様の検査を 受けたことのない人)
料金	1,400円 (全ての人が有料)	500円 (全ての人が有料)	無料
検査方法	血液検査 ピロリ菌感染の有無と胃粘膜の萎縮状態から胃の健康度を調べます。	血液検査 ピロリ菌感染の有無を調べます。	血液検査 B型・C型肝炎ウイルスの感染の有無を調べます。
注意事項 ※必ずお読みください!	<p>【対象とならない人】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ピロリ菌の除菌治療を受けたことがある人 ●食道・胃・十二指腸疾患で、定期的に胃内視鏡検査を受けている人 ●胃薬、ステロイド剤または免疫抑制剤を内服中か、2週間以内に内服していた人 ※胃薬の種類により検診の対象となる場合がありますので、事前に医療機関に相談してください。 ●胃切除後の人 ●腎不全(透析中またはクレアチニン値が3.0mg/dL以上)の人 <p>Eをお読みください</p>	<p>胃がんの98%はピロリ菌が原因といわれています。ピロリ菌は胃の粘膜にすみ着く菌で胃炎、潰瘍、胃がんなどの原因となります。5歳以下の幼少期に感染すると言われ、除菌しない限り感染は続きます。ピロリ菌に感染している場合は、飲み薬でほぼ退治でき、将来の胃がんになる可能性を減らせます。(ピロリ菌検査には除菌治療は含まれません。)</p> <p>肝炎ウイルスに感染したまま治療せずにいると、肝硬変や肝がんを発症する危険性が高くなります。</p>	

がん検診は「死亡率を減少させることが科学的に証明された」有効な検診です。ただし、がんは発生してから一定の大きさになるまで検査で発見できないことや、見つけにくい場合もありますので、がん検診ですべてのがんが見つかるわけではありません。また、がんでなくても「要精密検査」と判定されたり、放置しても死に至らないがんとの区別が受診時点においてできないため、結果的に不必要な治療や検査を受けなければならない場合もあります。しかし、これらのデメリットよりも、がんによる死亡のリスクを軽減するメリットが大きいことが科学的に証明されていることから、早期発見・早期治療であなたの大切な命を守るため、必ず定期的ながん検診を受けましょう。

参考 国立がん研究センター がん情報サービス

がん患者 ウィッグ・乳房補整具の購入費用を助成します

がん患者の方の治療と社会参加の両立を支援するため、ウィッグや医療用帽子、乳房補整具の購入費用の助成事業を実施しています。

- 対象品：①ウィッグ・医療用帽子(頭皮保護ネットも含む)
②乳房補整具(補整パッド又は人工乳房、それらを固定する下着を含む)
- 助成金額：購入費用の2分の1(上限①②各2万円)
※助成回数は1人につき①②各1回限り、現金で支払った部分の金額のみ対象となります。
- 申込期限：助成対象品購入後、1年以内

その他、対象となる要件等がありますので、こちらから確認してください→



問い合わせ先 春日井市健康福祉部健康増進課 ☎(0568)85-6166

令和6年度版

有効期限
令和7年2月28日まで

がん検診のしおり

検診を受診する前に必ずお読みください

がん検診の受け方

1 同封の受診券で令和6年度に対象となる検診を確認する

! 次の人はがん検診の対象となりません

- ・転出した人
- ・症状があり医療機関の受診が必要な人
- ・希望するがん検診において、そのがんの治療中の人、経過観察中の人
- ・検診により対象とならない要件があります。「胃内視鏡検査」は2ページ、「乳がん検診」は3ページ、「胃がんリスク検診」は4ページをご覧ください。



2 A①のいずれかに直接予約します

A 医療機関

同封の**医療機関一覧**を確認してください。

① 総合保健医療センター

3ページ **E**を確認してください。



医療機関により、実施できる検診や検査内容が異なります。医療機関一覧で確認してから受診してください。

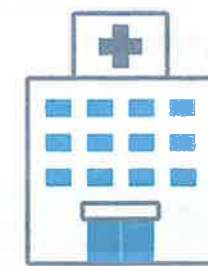
- 例えば
- ・胃がん検診 胃内視鏡検査と胃部X線検査があります。
 - ・乳がん検診 マンモグラフィ検査(乳房X線検査)と乳房超音波検査(エコー検査)があります。

医療機関の混雑状況によっては、受診券の有効期限までに予約が取れない場合がありますので、早めの予約・受診をおすすめします。

3 受診する

受診券、健康保険証、受診料金をお持ちください

- ・検診の検査項目以外で医療行為が必要となった場合は、保険診療となりますので、自己負担金が発生します。
- ・受診回数は、年度内に1回限りです。同じ検診を2回受診した場合や、検診を個人の事情で中断した場合は、全額自己負担となることがあります。
- ・受診券を紛失した場合は再発行ができますので、市へご連絡ください。



4 検診結果を確認する



5 結果に応じ、精密検査や治療のために受診する

がん検診は、病気ががんの可能性を見つけ、適切な医療へ結び付けるための検査です。精密検査の費用は保険診療等(自己負担)となります。